

SIPPropにおける「ENUMによるプロトコル変換Proxy」

今村謙之(noritsuna@sipprop.org)

2006/09/20

アジェンダ

- SIPropとは？
- SIPropのENUM機能とは？

SIPPropとは？

■ 特徴

- VoIP(SIP-UA)の仕様差を吸収するB2BUA
 - クライアントサイドで動作
 - 吸収動作をモジュールにて定義可能
 - OSSプロジェクトである
 - <http://www.sipprop.org/>
 - 2006年上期 IPA未踏ソフトウェア事業採択
- ## ■ SIPProp
- 読み:しつぶろつぶ
 - 意味:SIP と Interop(Interoperability、相互接続性)との造語。

機能

- クライアントサイドで動作
 - local-Proxyとして動作
- 動作定義モジュール機能
 - シーケンスやメッセージの変換ルールをモジュールで定義可能
 - 各モジュールは、プロトコルに依存しないため、プロトコル変換が可能
 - SIPやXMPPなどに対応可能

→これが、実質プロトコル変換Proxyとして動作する

- OSSであるため、使用者が機能追加可能

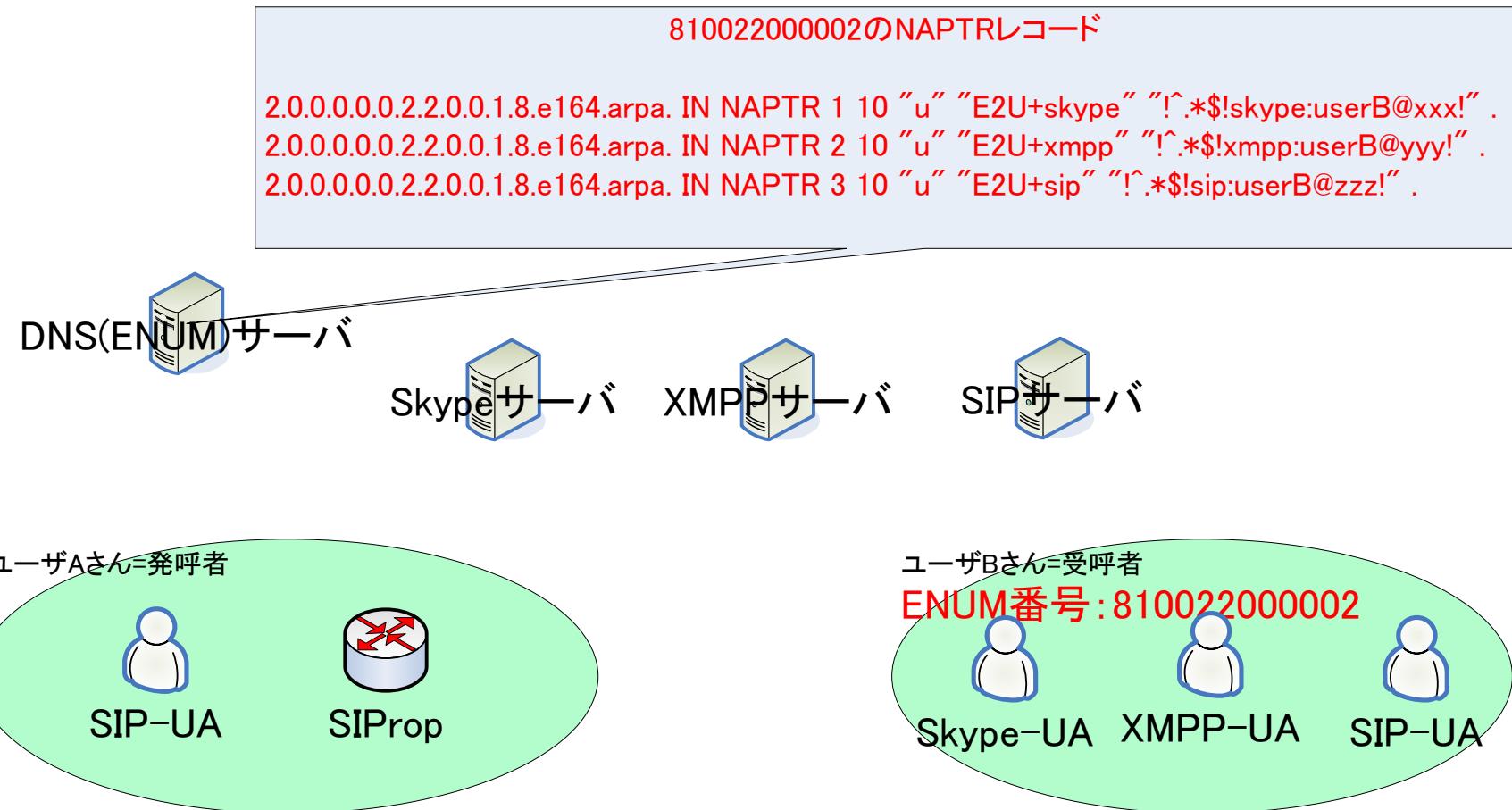
対象プラットフォーム

- OS
 - Windows Mobile 5.0
 - 組み込みLinux
- ハードウェア
 - シャープ社製
 - W-ZERO3
 - Linux搭載ザウルス
 - その他スマートフォン
- 言語
 - Java2ME
- 使用ライブラリ
 - Jain-SIP for ME
 - NIST製 SIP Stack

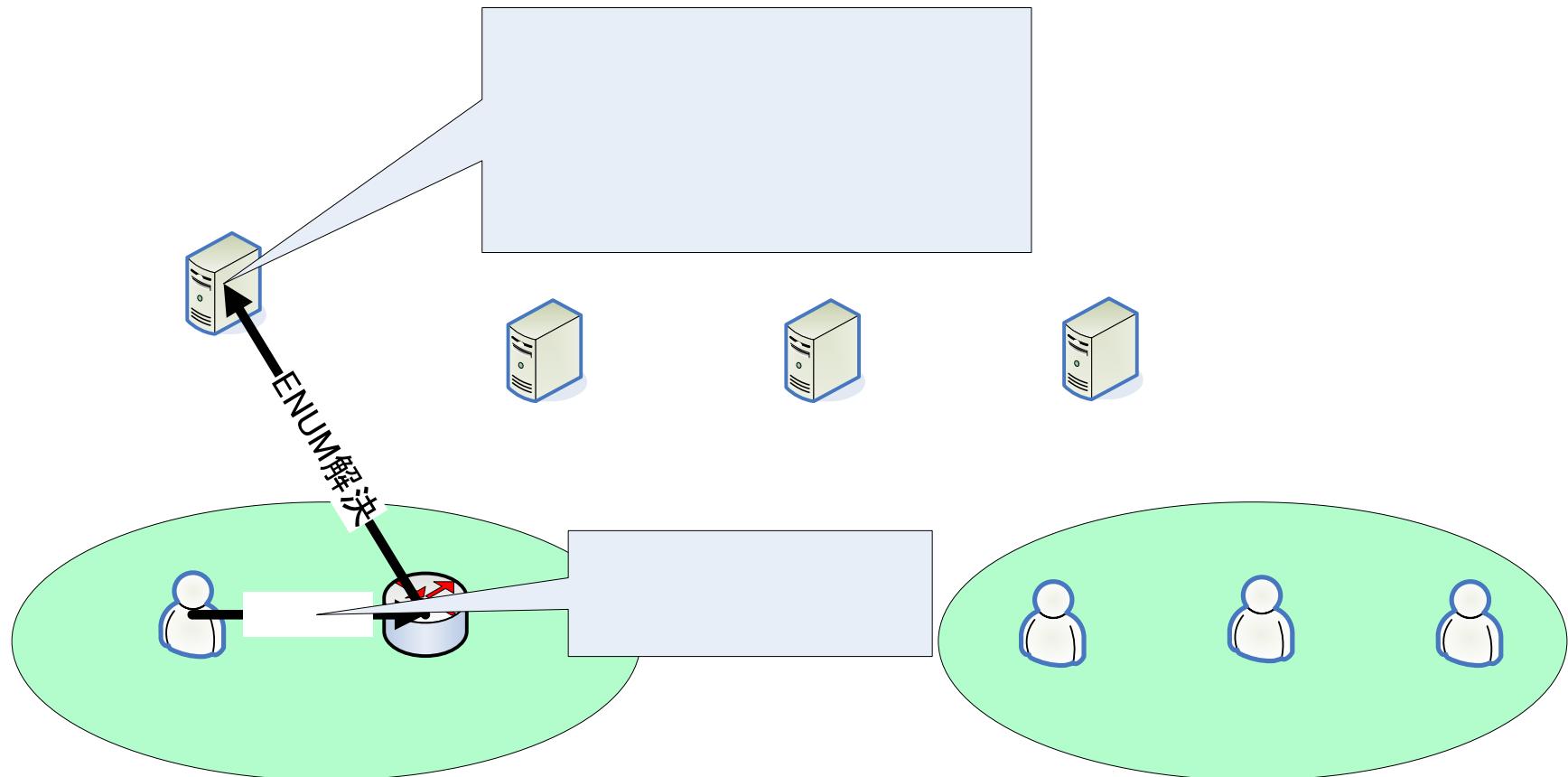
ENUM関連機能

- ENUMResolver機能
 - ENUM用のレコードを引く機能
- 動作定義モジュールによる、プロトコル変換機能
 - 動作定義モジュールをプロトコル単位で切り替えることにより、SIP←→他プロトコル通信を行う機能

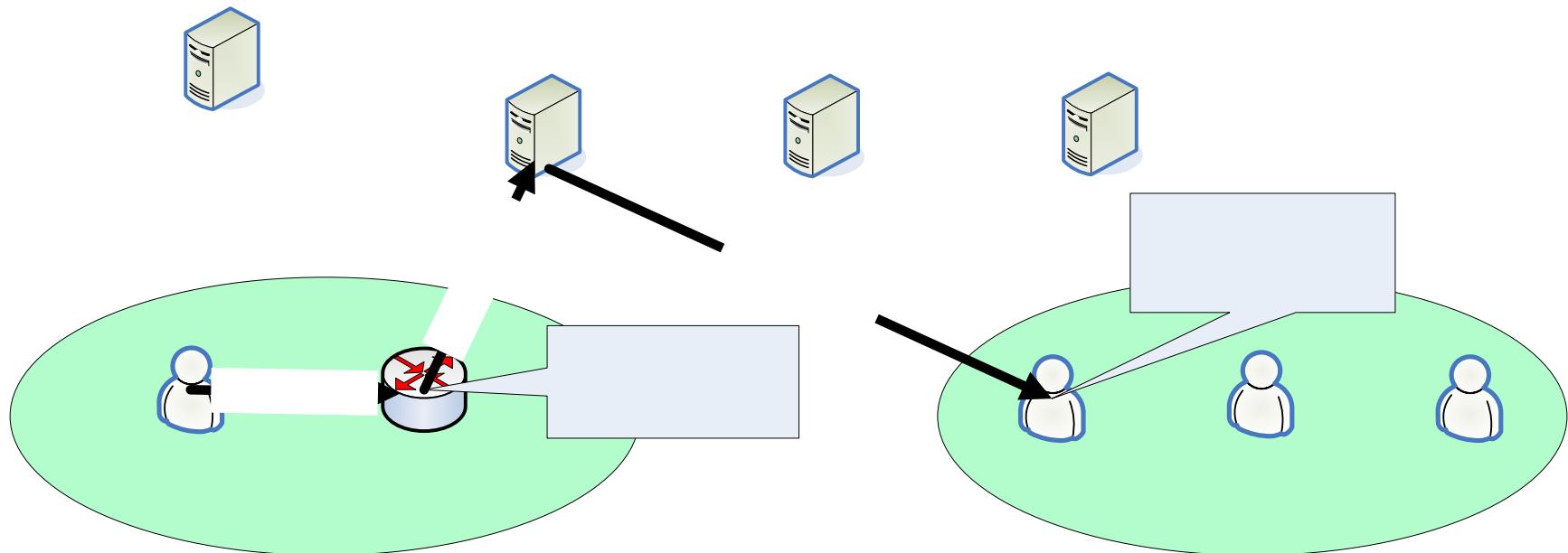
ENUM動作：初期状態



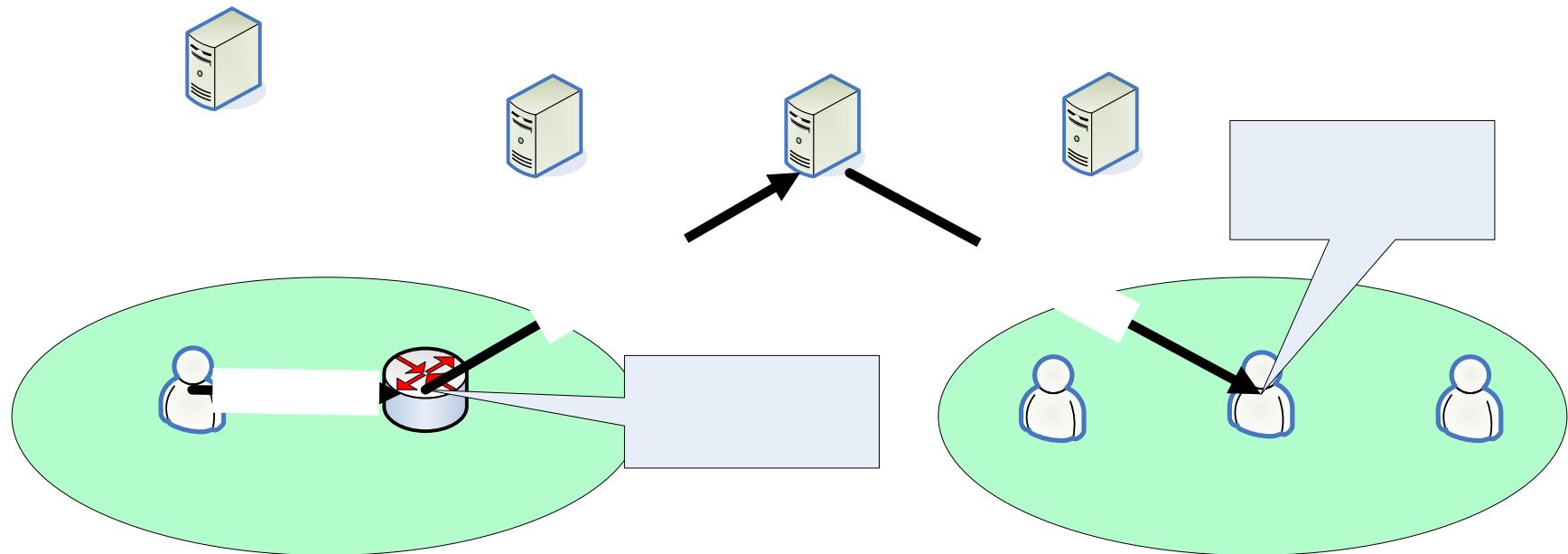
ENUM動作: ENUMを引く



ENUM動作: Skype通信



ENUM動作:XMPPT通信



ENUM動作:まとめ

- ENUMシークエンスで、スタンダードと思われるパターンを基本的な機能だけで、実装できる
- 柔軟に、対応プロトコルやシークエンスを拡張可能である

最後に～自己紹介～

- 氏名:今村謙之(いまむらのりつな)
- IT業界歴:約5年(現在、フリーランスとして活動)
- 得意言語:Java、C
- 得意分野:SIP、ネットワーク層
(開発～運用、セキュリティー)
- 特記事項:PCサーバタワー11台運営中(自宅にて)

以上、ご静聴ありがとうございました。

<http://www.siprop.org/>

Blog: <http://noritsuna.siprop.org/>